



笑劇スcoop!?
マガジンエックス謹製

“エックスくん飴”の 製作工程を実況中継。

チエちゃん
金太郎飴工場をご案内



▲金太郎飴本店2階の工場。ここで金太郎飴はひとつひとつ手作りされているのだ。

こ
こが金太郎飴の
工場です



▲いよいよできあがった棒状の部品を組み合わせる。写真は顔の上半分ができたところ。



▲X型に入る黄色いラインは、アングル材を使って角度を決める。人間の顔よりたいへん部分が多いようだ。



▲エックスくんの顔は人間の顔より部品点数も多く、斜めの部分も多いのでたいへんだが……。

顔
ができてきたー



▲最後に白い飴でまわりを巻いて、組み合わせ工程は完了。もちろん、まだできあがりではない。

太
さは30
くらいあるよ



▲できあがった大きな筒状のエックスくん飴をゴロゴロと転がして丸くする。



▲さらに、ふたりがかりで引っ張りながら両端を絞る。伸ばすときに部品がズレないようにするためだ。



▲固まった棒飴を包丁で切る。飴が固いので、包丁の上から角材でたたいた。コンコンという木の音色が小気味よい。



▲細長くくなった飴を、またもゴロゴロ転がす。こうしながら扇風機の風で冷ますと、きれいに丸く固まるの

ワ
タシも
お手伝い
しちゃお



▲飴をローラーのついた機械に入れて伸ばすと、直径2 ほどの細い棒飴になって出てくる。まだ、かなりやわらかい。



▲で、両端を引きちぎった端っこがコレ。「おもしろいでしょ」と五代目店主の渡邊鐵男さん。

完成!



エックスくん飴を作ってくれた金太郎飴本店の職人さんたち。普通より手間のかかる仕事を見事にこなしてくれた。

エックスくん飴を
50名の読者にプレゼント

【応募要領】

エックスくん飴ご希望の方は、官製ハガキに、ご住所、お名前、年齢、電話番号、今月号のおもしろかった記事、つまらなかった記事(それぞれ理由を添えて)を明記の上、下記あて先までご応募ください。締め切りは12月25日(当日消印有効)です。なお、当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

【あて先】〒162-8615 東京都新宿区横町39-201 マガジンX編集部「エックスくん飴」係

●今回のガイド役、チエちゃんへのファンレターはプレゼントと同じ本誌編集部「チエちゃんLOVE」まで。待ってるヨ

できたよ!



ちょっと変わったマガジンXオリジナルグッズを作って読者にプレゼントしよう。「それなら、オリジナルの金太郎飴を作ってくるところがあるらしいよ」「それだ!」……ということで、やってきました東京は下町、金太郎飴本店。絵柄はもちろん、本誌キャラのエックスくん。せっかく作るんだから、エックスくん金太郎飴のできるまでを完全実況中継しちゃおう!

取材/マガジンX金太郎飴作り隊
モデル/根本千恵



▲そこに食用色素を入れて、機械で混ぜる。空気も入るので色合いもやわらかくなるのだ。



▲まずは職人さんたちが手分けして、イラストを見ながら棒状の部品を作っていく。完成を予想する創造力とカンが問われる工程だ。

目、口、顔の模様などはユニットで作る。仕上がったときのフチどりになる茶色の飴で巻いておくのだ。

オリジナルも作ってくれる百年以上の歴史ある老舗

金太郎飴本店

東京都台東区根岸5-16-12 03-3872-7706

今回、エックスくん飴を作っていたのは、あの金太郎飴の元祖であり明治以来100年以上の歴史を誇る「金太郎飴本店」。金太郎飴だけでなく、七福神飴、まんが飴なども手がける同店では、新郎新婦の似顔絵を描き込んだ「ブライダル飴」やオリジナル飴などのオーダーも受け付けている。ブライダル飴の場合、新郎新婦の絵柄各75袋づつで7万円が基本。オーダーにや複雑な絵柄についても相談ののってくれるぞ。詳しくは上記電話番号まで問い合わせを。

お店は営団地下鉄日比谷線・三ノ輪駅から徒歩3分。昭和通り沿いにある。